

指定管理者総合評価シート

施 設 名	守谷市市民交流プラザ キ・ターレ		
指定管理者	アクティオ株式会社		
指 定 期 間	令和 3 年度 ～ 令和 7 年度	5	年目
施設所管課	のびのび子育て課		

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価	
I 実 施 体 制 に 関 す る 評 価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A	
	人員体制	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	A	A	
		スタッフのシフトは適正であるか（管理部門）	B	B	
		スタッフのシフトは適正であるか（現場）	B	B	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
	法令遵守	関係法令等の規定を遵守し、適正な管理を行っているか	A	A	
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A	
		避難経路は適切に確保されているか	A	A	
		消防機器の点検は定期的に実施されているか	A	A	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
	【総括 I】	実施体制に関する評価		A	
	指定管理者の 自己評価	法令や協定に基づいた運営に心がけ、利用者の安全・安心のためにケガ防止のための日常点検やヒヤリハット研修等積み重ねることができた。個人情報保護方針に基づく個人情報の管理実施の為、職員のコンプライアンス研修等重ねている。			
	施設所管課の評価	法令や協定に基づいた運営に努め、利用者の安全・安心確保のため、日常点検やヒヤリハット研修等を計画的に実施しています。また、個人情報保護方針に基づく管理体制を整備し、職員向けのコンプライアンス研修を実施するなど、適切な管理体制の維持に努めていることが確認できる。施設運営に必要な人員配置や教育・研修も計画的であり、緊急時対応や事故防止への意識も高く、安定的な運営体制が構築されている。			

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅱ サ ー ビ ス の 内 容 や 水 準 に 関 す る 評 価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内 利用状況	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	B
		施設の利用者数は市の期待（または事業計画書に定めた目標）に沿っているか	A	A
	事業の実施	利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
		事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
	環境への配慮	参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
		省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか（節電、グリーン製品購入等）	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
		苦情や要望等に対する処理体制は整えられているか	A	A
	利用者の意見の反映	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させる仕組みはあるか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		台帳等の記録により備品が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	【総括Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価		A
	指定管理者の 自己評価	利用者の立場、目線に立って利用については公正、公平になるよう全職員で具体的な事例をもとに改善点や修正すべきことについて毎月の職員打合せで確認した。地域の要望等に応えるべくアンケートを実施し、改善に生かした。		
	施設所管課の評価	利用者サービス向上に向け、施設独自のアンケートや声掛けによる利用者ニーズの把握を行い、講座やイベント内容の改善に反映している。また、地域との連携やボランティアの活用により、体験型プログラムや地域イベントへの参加機会を拡充している。施設内外の安全管理や平等利用の徹底も行われ、利用者からの信頼と満足度向上に資する取り組みが確認できる。さらに、音楽やスポーツ、読書・俳句講座など、多様な学びや体験を提供することで、児童の豊かな成長に寄与している。		
評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅲ 収 支 等 に 関 す る 評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費削減	経費削減に向けた取組を積極的に実施したか	B	B
	【総括Ⅲ】	収支等に関する評価		A
	指定管理者の 自己評価	市担当課をはじめ、本社担当への報告や連絡、相談を必要に応じて行った。リユースコーナーの設置や寄贈廃材利用を積極的に活用し、補修に関してもできる限り当館職員でできるものは対応している。節電、節水も継続している。		
	施設所管課の評価	収支計画に基づき、予算の適正執行が行われていることが確認できる。また、リユースコーナーや寄贈物品の活用、材料の再利用による経費削減、施設内の節電・節水、LED化や空調管理など、効率的かつ環境に配慮した運営努力が具体的に実施されている。補修等についても職員が可能な範囲で対応するなど、自助努力が見られ、限られた予算の中で経済的かつ持続可能な運営に取り組んでいる。		
Ⅳ	【総合評価】	Ⅰ～Ⅲの総括による総合評価		A